

Press Release

2024年10月23日

新たな DMQP パートナー Mahr 社の 表面粗さ測定機 MarSurf MC 510 を認定

DMG 森精機株式会社(以下、当社)は、ドイツ・ゲッティンゲンに本社がある Mahr グループと DMQP パートナーシップを締結し、表面粗さ測定機「MarSurf MC 510」を DMQP に認定しました。

DMQP(DMG 森精機認定周辺機器)は、当社製品の周辺機器において、品質・性能・保守性に優れた製品を認定するものです。当社の工作機械と、高性能・高品質な周辺機器との最適な組み合わせにより、お客様の垂直立ち上げと、さらなる生産性向上を実現します。DMQP は、当社が推進するマシニング・トランスフォーメーション(MX)において重要な要素です。

MarSurf MC 510 は、切削加工環境下においても、ワークの表面粗さを最大 Rz 1 μ m の精度で自動測定できる革新的な測定機です。ツールマガジンから呼び出され、工具主軸に装着された後、自動で測定プロセスを開始します。計測工程は外部 PC 内のソフトウェアで制御可能で、ワイヤレス通信を介して MarSurf MC 510 と双方向通信を行います。PC は OPC UA^{*1} を介して加工機の NC プログラムとも連携し、取得データはさらなる分析にも活用できます。現在 PC で使用するソフトウェアは、2025 年の春までに、当社の制御プラットフォーム CELOS X に統合予定です。(Mahr 社 製品動画はこちら:<https://www.youtube.com/watch?v=srPaig51nZk>)

パートナーシップの締結にあたり、当社取締役社長 森 雅彦は、「この測定システムにより、お客様は DIN ISO 4288/4287、および DIN ISO 21920-2:2021 に準拠した方法で、機内でワークの表面粗さを直接測定できるようになる」と話します。また、Mahr グループ CEO 兼 取締役会長のマニユエル・ヒュスケン氏は、「MarSurf MC 510 は信頼性が高く、DIN ISO 規格に準拠した方法で測定結果を出力することができる」と強調します。

今後の展望について、ヒュスケン氏は、「将来的には、計測データから工具摩耗の状態を予測し、工具コストの削減にも貢献できる可能性がある。」と見据えています。さらに、当社取締役社長 森は、「工程集約された加工プロセスにおいて、実際のワークの計測結果をフィードバックできることは、今後、クローズドループ制御のアプリケーションの礎となる」と話します。この点に関しては、すでに大学との間で共同研究を開始しています。また、様々な形態の自動化セルや自動化システムに、この測定システムを導入することに大きな可能性を見出しており、「このシステムを加工機内の工程に組み込むことで、お客様は生産品と測定データの一貫性を高めることができるだけでなく、量産における測定に関わるサイクルタイムを大幅に短縮し、全体的な運用コストを削減することができる」と話します。

MarSurf MC 510 は、11月5日(火)~10日(日)まで東京ビックサイトにて開催予定の「JIMTOF2024」と同時開催する、当社東京グローバルヘッドクォータ(江東区潮見)の事前予約制のオープンハウス「東京テクノロジーウィーク」にて、複合加工機 NTX 3000 による実演を予定しております。また、生産拠点である伊賀事業所(三重県伊賀市)、フロンテン工場(ドイツ・バイエルン州)、ゼーバッハ(ドイツ・テューリンゲン州)のショールームにも、展示予定です。

^{*1} OPC UA は OPC Foundation の商標または登録商標です。

【会社概要】

会社名 : Mahr GmbH

創業 : 1861 年

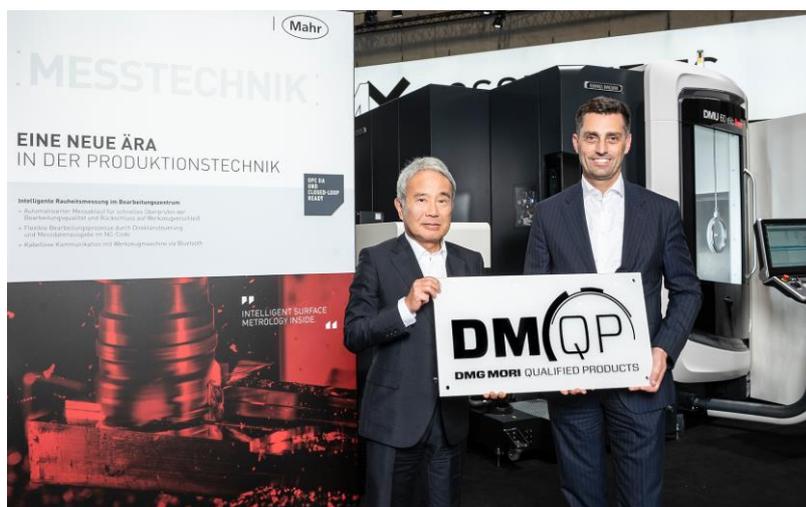
本社住所: Carl-Mahr-Straße 1, 37073 Göttingen, Germany

代表者 : CEO Manuel Hüsken、CTO Dr. Martin Thomaier、CFO/CIO Robert Mikula

事業内容: 精密測定機器、メータリングシステム、ロータリーストロークベアリングの開発・製造・販売

拠点 : ヨーロッパ、アメリカ、アジアに 20 の拠点をもち、さらに 39 の代理店を通じて世界中で事業を展開

Web サイト: <https://www.mahr.com/en-int/>



Mahr グループ CEO 兼 取締役会長 マニュエル・ヒュスケン氏と当社取締役社長 森 雅彦



表面粗さ測定機 MarSurf MC 510

以上